

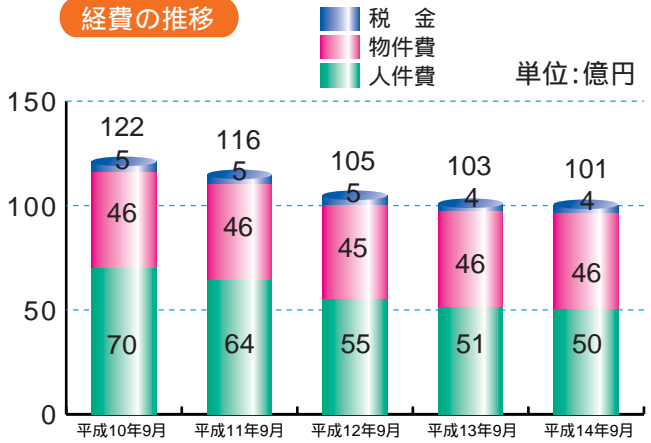
Q7 経営の効率化について教えてください

A 経営の効率化は着実に進んでいます

経営の効率化は当行の重要な経営課題の一つであり、その改善に向け役職員一丸となって取り組んでいます。人件費は職員数の削減(期中平均人員で前年同期比39名)や業務効率化などにより前年同期比1億10百万円減少の50億68百万円、物件費は店舗数の削減効果などにより前年同期比55百万円減少の46億25百万円となり、税金を加えた経費合計では前年同期比1億74百万円減少の101億82百万円となりました。

こうした経費削減により、経営効率化の指標であるOHR(注1)は14年3月期65.0%、14年9月期58.4%となり、同規模地銀平均(注2)の67.2%(平成14年3月期)との比較においても良好な状況にあります。当行は、引き続き競争力の強化につながる新規投資に積極的に対応するとともに、収益力向上と経費抑制とのバランスを図りながら、経営効率の向上に努めてまいります。

経費の推移



(注1) OHRは、経費÷業務粗利益で算出し、いかに少ない経費で多くの収益をあげたかを表します。値が小さいほど経営効率化が進んでいます。
 (注2) 同規模地銀平均は、地方銀行協会が定める資金量規模が当行と同程度の銀行グループ(13行)の平均値です。
 (注3) グラフ上の値は各項目とも切り捨てて表示しており、合計と一致しません。

Q8 格付けについて教えてください

A 格付けは「A-」(シングルAマイナス)を取得

格付けは、企業が発行する債券などの元金および利息の支払いが、約定どおり履行される確実性の度合いを、公正な第三者である格付機関が評価し、その結果を記号で表したものです。

当行は、日本の代表的な格付機関である日本格付研究所の格付け(注)を取得しており、20ランク中上位から7番目となる「A-」(シングルAマイナス)の良好な評価を得ています。当行は今後も、収益力の強化や自己資本比率の向上を図り、格付けの向上に努めてまいります。

長期格付記号
格付けの定義

格付け記号	定義
AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA(+)	債務履行の確実性は非常に高い。
A(+)	債務履行の確実性は高い。
BBB(+)	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB(+)	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B(+)	債務履行に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

(注) 格付けは、「AAA」から「D」までの10段階に分かれています。また、「AA」から「B」までの格付け記号には、同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)もしくは(-)の符号による区分があります。その符号も含めてランク付けした場合には、20ランクとなります。

Q9 自己資本比率について教えてください

A 自己資本比率は国内基準の2倍以上となる9.99%

自己資本比率は、経営の安全性や健全性を図る指標の一つで、企業の利益や資本金などが資産(貸出金等)規模に対してどのくらい充実しているかを表しています。この比率は、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上、当行のように国内で営業している銀行は4%(国内基準)以上が必要とされています。当行の自己資本比率は国内基準の2倍以上となる9.99%を確保しています。

自己資本比率(単体)の推移

